

# Colony Tokyo

# コロニーとうきょう

Vol. 180号

2026(令和8)年  
1月1日発行

 社会福祉  
法人 東京コロニー

〒165-0023

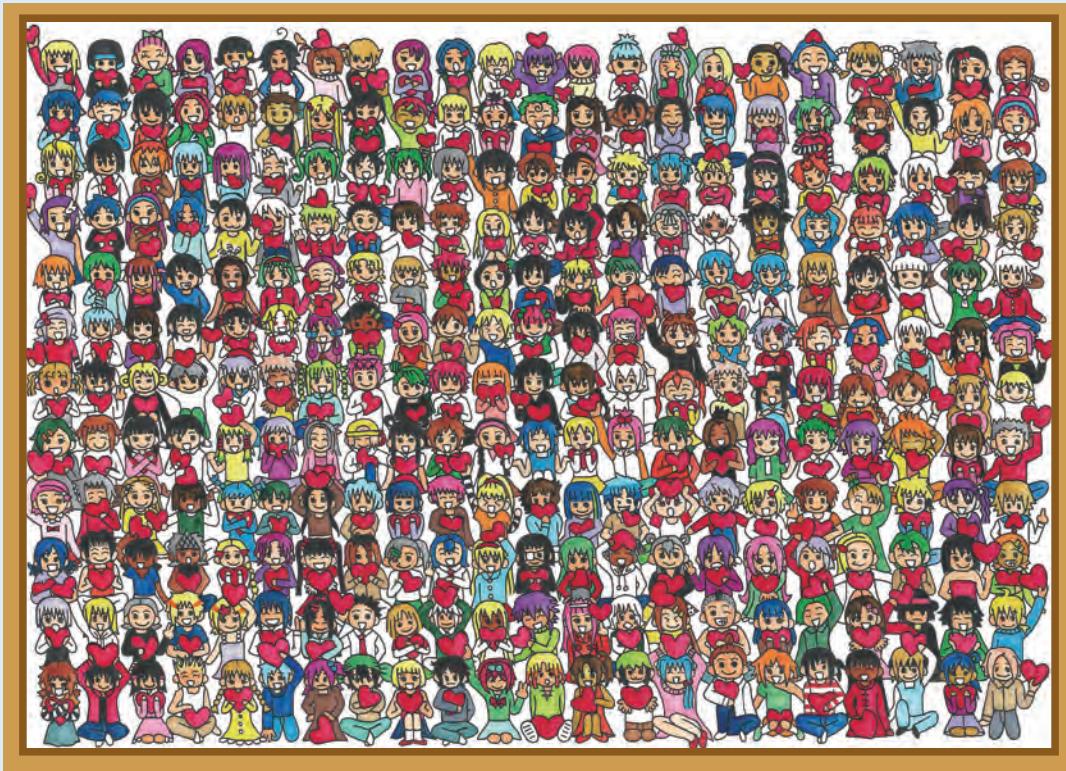
東京都中野区江原町 2-6-7

TEL 03-3952-6166

FAX 03-3952-6664

<https://www.tocolo.or.jp/>

(法人本部 事務局)



アートビリティギャラリー 55 旭 夏空さん 『大丈夫、愛はみんな持ってる。』(詳しくは13頁をご覧下さい。)

時評

とびっくす

2025年度上半期事業報告

法人本部・コロニー中野・トーコロ生活支援センター・アートビリティ(〒165-0023 中野区江原町2-6-7)・中野区仲町就労支援事業所(〒164-0011 中野区中央3-19-1)・コロニーモミジやま支援センター(〒164-0001 中野区中野5-3-32)・トーコロ情報処理センター 事業部・職能開発室(〒164-0001 中野区中野5-3-32)・デジタルメディアセンター(〒170-0005 豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル6F)・東京都葛飾福祉工場(〒125-0042 葛飾区金町2-8-20)・立石工場(〒124-0012 葛飾区立石3-10-18)・コロニー東村山(〒189-0001 東村山市秋津町2-22-9)・東村山市障害者就労支援室(〒189-0014 東村山市本町1-1-1)・東京都大田福祉工場(〒143-0015 大田区大森西2-22-26)・トーコロ青葉ワークセンター・トーコロあおば就労サポートセンター(〒189-0002 東村山市青葉町2-39-10)・国分寺戸倉寮(〒185-0003 国分寺市戸倉1-21-9)・東久留米第一氷川台寮・東久留米第二氷川台寮(〒203-0004 東久留米市氷川台2-31-22)・えはらハイツⅠ、Ⅱ・中野江原短期入所・中野区日中一時支援(〒165-0023 中野区江原町3-23-2)・とよたまハイム(〒176-0014 練馬区豊玉南2-3-9)・こあらハイツ(〒202-0013 西東京市中町3-10-9)・あおばハウスⅠ、Ⅱ(〒189-0002 東村山市青葉町3-2-2)

# 時評

## 法律と人権と約束

理事長 中村 敏彦

新年あけまして

わが国の平和が続きますように

おめでとうございます。

心より願います。

はじめに  
今年は「丙午」の年、「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」と言います。過激になり過ぎないよう情熱的に活動して行きましょう!!  
当法人事業の根拠法は「障害者総合支援法」で、この法に基づく支援体系は、自立支援給付と地域生活支援事業のふたつで構成されています。自立支援給付は、国が制度化した全国共通のサービス給付で、市町村が支給決定を行い、費用の大部分を都道府県、市町村の公費で賄つもので。一方、地域生活支援事業とは、市町村主体で行う地域密着の事業で、各自治体の創意工夫により柔軟に実施される支援施策になります。つまり、自立支援給付は、国の責任を明らかにした全国一律の権利としてのサービス、地域生活支援事業は地域ごとの実情に応じた任意事業という位置づけになると思います。

何層にも重なりあって全体像を把握するのが困難です。  
②専門用語だけ  
使用用語が専門的で、かつ類似し、複しています。また、度々見直されないので、自分の求めるサービス内容を理解するのとても苦労します。  
③対象者・条件などが限定的  
本来、障害種別によらず利用できるサービスを一元化したという割りに書いてみたいと思います。  
それでも、2006年に施行された障害者自立支援法から20年、2013年に改名された障害者総合支援法から13年、3年ごとの報酬改定を含む見直しによって、複雑になります。使いづらい法律

①サービス構造が複雑  
基本的な設計を利用目的別に細分化しているため、重複していることが多く、加えて、各自治体が独自のサービスや基準を設けているため、

サービスごとに利用できる障害の種類（身体、知的、精神など）や障害支援区分、年齢などの条件が細かく設定され、とても使いづらいです。  
④手続きがとても煩雑  
サービスは自己申告が前提になつており、サービスの利用開始までには、申請、認定調査、審査、サービス等利用計画の作成など、たくさんステップと書類提出が必要で、面倒で仕方ありません。

⑤情報源が散乱  
各自治体のホームページや相談窓口など、情報が複数の場所に散らばつており、必要としている支援や情報にたどり着くことが容易ではありません。また、住む地域によつては無いサービスがあり、地域格差が生じています。時には、相談支援窓口で「あっち、こっち」にたらい回しになります。

何層にも重なりあって全体像を把握するのが困難です。  
②専門用語だけ  
使用用語が専門的で、かつ類似し、複しています。また、度々見直されないので、自分の求めるサービス内容を理解するのとても苦労します。  
③対象者・条件などが限定的  
本来、障害種別によらず利用できるサービスを一元化したという割りにサービスごとに利用できる障害の種類（身体、知的、精神など）や障害支援区分、年齢などの条件が細かく設定され、とても使いづらいです。  
④手続きがとても煩雑  
サービスは自己申告が前提になつており、サービスの利用開始までには、申請、認定調査、審査、サービス等利用計画の作成など、たくさんステップと書類提出が必要で、面倒で仕方ありません。

⑤情報源が散乱  
各自治体のホームページや相談窓口など、情報が複数の場所に散らばつており、必要としている支援や情報にたどり着くことが容易ではありません。また、住む地域によつては無いサービスがあり、地域格差が生じています。時には、相談支援窓口で「あっち、こっち」にたらい回しになります。

障害者を取り巻く環境には大きな節目があります。ひとつは、国際的

### 歴史が動いた大きな出来事

障害者を取り巻く環境には大きな節目があります。ひとつは、国際的

に障害者が団結して行動を始めるきっかけとなつた1981年の国際障害者年。もう一つは障害者も他の者と同様に人権をもつ主体であることを国際基準とした2006年に採択された国連障害者権利条約です。

「障害者の完全参加と平等」をテーマとした国際障害者年は1976年に国連総会で決議され1982年の障害者に関する世界行動計画、1983年、1992年までの国連・障害者の十年と続きます。わが国ではこの時期から、ノーマライゼーションの理念が普及し、施設入所を中心の施策に地域福祉を加える形で関連法や施策の見直しにつながつていきました。障害者に対して、気の毒だとか、助けたいと思うのではなく、何割かのハンディキャップを持つ人たちがいるのが当然な社会であると、理念として整理されたことに大きな意味がありました。また、理念の浸透と共に障害者自身も、人に頼らず自立生活を目指そうという気運が高まり、福祉理念の大きな転換の時でもありました。

障害者権利条約は、奇しくも、わが国で制定された障害者自立支援法と同じ年に採択されました。権利条約が求めていることを要約すると、障害者の尊厳、自律および自立の尊重、無差別、社会への完全かつ効果

的な参加および包容等を一般原則として示し、障害に基づくいかなる差別もなしに、すべての障害者のあらゆる人権や基本的自由を完全に実現することを確保し、促進するための措置を締約国がとることを定め、条約の効果的な実施を確保するために、

締約国が国内における実施を監視する枠組みを維持し、強化し、指定し、または設置すること、そして、締約国が選出する委員から構成される障害者の権利に関する委員会を設置すること、などを求めていました。

2022年には初めて日本の審査が行われ、総括所見が示されました。総括所見は、日本の障害者に関する法律・政策が父権主義的アプローチであることを懸念し、障害者も保護の対象ではなく、人権の主体と認められる「人権モデル」に変えることを求めました。さらに、権利擁護や苦情解決、救済制度の設立・強化が求められ、とくに、国内で救済されない場合に国連に訴える個人通報を可能にする「選択議定書」の批准と、パリ原則を遵守した国内人権機関の設立が勧告されました。日本はまだ、選択議定書を批准していません。そして、一般の社会環境と障害者に限定した専用の場の分離した環境を懸念し、一般的の社会環境に移行するこ

とを目標することを19条（自立生活と地域社会への包摂）、24条（教育）、27条（労働と雇用）で求めています。

医学モデルは、障害者の困難の原因を機能障害に視点を当てていますが、そこには、自己責任・家族責任・自助の強調、弱者とみる父権主義につながる可能性があります。社会モデルは、困難の原因は本人ではなく社会のバリアにあるとします。そして、人権モデルは、すべての人がもつ尊厳、人権、自由を障害者も等しく持つとし、機能障害は尊厳と権利に影響せず、機能障害は人間の多様性の一部であると解釈できるのではないでしょうか。

## 法の制定と廃止、約束

2006年、身体・知的・精神の障害種別と障害児福祉を統合し、障害者自立支援法が施行されました。介護保険への統合は、当事者たちの反対により実現していませんが、利用契約や1割負担など、介護保険の一部を取り入れています。自立支援法施行まもなく、全国14の地方裁判所に71人の障害者・家族が提訴しました。原告は、障害ゆえの困難さに自己負担が求められた絶望を訴え、マスコミは、施設利用を断念した人の姿や、障害者世帯の無理心中などを報じました。2009年、民主党

目指すことを19条（自立生活と地域社会への包摂）、24条（教育）、27条（労働と雇用）で求めています。

医学モデルは、障害者の困難の原因を機能障害に視点を当てていますが、そこには、自己責任・家族責任・自助の強調、弱者とみる父権主義につながる可能性があります。社会モデルは、困難の原因は本人ではなく社会のバリアにあるとします。そして、人権モデルは、すべての人がもつ尊厳、人権、自由を障害者も等しく持つとし、機能障害は尊厳と権利に影響せず、機能障害は人間の多様性の一部であると解釈できるのではないでしょうか。

法律・政策が父権主義的アプローチであることを懸念し、障害者も保護の対象ではなく、人権の主体と認められる「人権モデル」に変えることを求めました。さらに、権利擁護や苦情解決、救済制度の設立・強化が求められ、とくに、国内で救済されない場合に国連に訴える個人通報を可能にする「選択議定書」の批准と、パリ原則を遵守した国内人権機関の設立が勧告されました。日本はまだ、選択議定書を批准していません。そして、一般の社会環境と障害者に限定した専用の場の分離した環境を懸念し、一般的の社会環境に移行するこ

## まとめ

繰り返しますが、基本合意は、国と違憲訴訟団との約束です。障害者自立支援法改め、障害者総合支援法には、基本合意が反映されなければなりません。制度は、利用する人に分かりやすく、利用しやすく見直すことが必要です。障害者福祉は確実に発展してきたとはいえ、福祉が商品化されたことで不正報道が後を絶ちません。また、この数年では、入所施設津久井やまゆり園で起きた殺傷事件、中央省庁などによる雇用率の水増し、雇用率ビジネスの横行、A型事業所の閉鎖と障害者解雇など、身近な問題として看過できないことが次々に起っています。

今年こそ人権モデルを基調にして、障害者の暮らしを大きく改善するこ

The logo consists of the word 'TOPICS' in a bold, sans-serif font. Each letter is rendered with a perspective effect, appearing as if it is receding into the distance. The letters are primarily black with white outlines, set against a light gray background that creates a strong sense of depth and dimensionality.

## TOPICS



を受け入れプログラムは一人三日間、一日の就労時間は2時間とし、11月と12月にそれぞれ1名ずつ体験していただきました。仕事内容は利用者さんへの支援業務ではなく、植栽や事務補助といった利用者さんと一緒に作業してもらうものを用意しました。お二人とも、何かしらの事情があり現在在宅で過ごされていましたが、このプロジェクトに参加されたことを考えると、今の状況から何かを変えていきたいという気持ち

今年度コロニー中野では、「就労体験プロジェクト」の受け入れを実施しました。中野区社会福祉協議会の福祉何でも相談・ひきこもり支援事業や相談窓口に来た方で、就労体験を希望された方や必要な方に、体験の場を提供するというものです。

## 地域の一事業所として

中野区では今、制度の狭間や社会的孤立により何にも繋がっていない方への支援が課題になっています。地域にどのくらいいらっしゃるか、どう把握していくか、どう繋げていくか、社会福祉協議会の事業のほか、部会で相談会を開いたりアンケートを実施したりしています。

何の理由でなぜここにいるのかすべ  
てを理解するのは難しい状況の中、  
当たり前のように一緒に枝を切った  
り、シュレッダー作業をしたり、道  
具の貸し借りで会話している姿もあ  
りました。他者受け入れの許容の広  
さと、いたずらに干渉しそぎない感  
覚の良さなど、私自身が学ぶべき場  
面もありました。

があつたのだと思います。初めての場所で、初めましての人たちと、しばらくぶりであろう労働に、一生懸命向き合つてゐる様子が伺えました。



## 中野区仲町就労支援事業所

川越へ Let's Go !

A white Hino 300 Series coach with 'DAIMON' branding on the front grille, parked in a garage. The bus has a large front window and a side door. The license plate area has the number '149'.

は、きつと  
私たちはず  
でに川越の  
街を歩き、  
ビュッフェ  
で満腹にな  
り、お土産  
袋を手に笑  
顔で帰つて  
きているはす

就労体験プロジェクトに参加された方は、三日間の体験終了後、社協職員と振り返りを行い、今後の就労の希望や可能性について相談していくそうです。地域の一事業所として、地域課題にともに取り組み、一人でも多く福祉に繋がる一助になればと思っています。

願いごとは何にしよう」とそわそわしている方の姿も見られます。良縁も、良い写真も、どちらも期待が膨らみます。

参拝後は、いよいよ川越プリンスホテルのランチビュッフェ。「まずはデザートから」の冒険派が現れるのが、「前菜から順番に」の正統派が主流なのか…当日の「食の戦略会議」が楽しみです。戦略的に、そして優雅に楽しみたいと思います。

午後は蔵造りの町並みと菓子屋横丁を自由散策。歴史の趣ある通りを歩くもよし、昔懐かしい駄菓子に心を奪われるもよし。視界に入るものすべてが小さな誘惑。「懐かしい、買っちゃおうかな」という声があちこちから聞こえる予感。心のままに、ゆつくりと街歩きを楽しむ予定です。ビュッフェで張り切りすぎて、食べ歩きの余力がなくなつていないこと

です。

今回の行き先は、『時の鐘』と『おいしいもの』で知られる小江戸・川越。歴史と風情を味わいながらの旅、と言いたいところですが、個人的には「ランチビュッフェにどれだけ気持ちを整えて挑むか」が早くも課題となつております。旅は準備から始まる、とはよく言いますが、胃袋の準備も重要です。前日は『調整モード』に入る方もいるかもしれません。

参加予定は20名弱。最初に向かうのは川越氷川神社です。縁結びの神様として知られる場所で、絵馬や大鳥居など、思わず写真を撮りたくなる



を祈ります。

この原稿を書いている今はまだ『想像の旅』ですが、みんなが読んでくださっている頃にはきっと『思い出の旅』に変わっていることでしょう。笑顔あふれる一日になつてることを願つて。

支援係長 石原 愛子

## コロニーもみじやま 支援センター

### 合同プログラムで紡ぐ絆

コロニーもみじやま支援センターでは、就労継続支援B型と生活介護で一緒に余暇活動を楽しもうという企画が2024年6月から年間3回行われています。11月で5回目のプログラムも終わりました。幾多の課題をクリアしながら定着した行事となつてきています。

B型と生活介護では活動の場所がフロア別に分かれていますが、近所



そんな現状の中で、同じ事業所の中で触れ合う場所が欲しいという声が利用者さんやご家族の皆さんから寄せられておりました。また、職員同士もミーティングで情報共有を毎日しておりますが、B型・生活介護相互にそれぞれの利用者さんの活動の様子をもつと知りたいという思いもありました。事業所として、行事とは別に、日常の中で利用サービスを問わない一体感のある活動を行いたいと始められた取り組みでした。

生活介護の利用者さんには医療的ケアとトイレ誘導があるために、長時間継続した活動は難しく時間の制

に住んでいたり卒業校が同じだつたりで、顔見知りの方もたくさんいらっしゃいます。食堂や休憩時間、行事の際などでB型・生活介護の利用者さんが共に会話をしている場面なども見られます。以前は作業などの日常の活動も一緒に行つていたこともあると聞きますが、利用者数の増加や多様化に伴つてそうした機会も減つてきています。

そんな現状の中で、同じ事業所の中で触れ合う場所が欲しいという声が利用者さんやご家族の皆さんから寄せられておりました。また、職員同士もミーティングで情報共有を毎日しておりますが、B型・生活介護相互にそれぞれの利用者さんの活動の様子をもつと知りたいという思いもありました。事業所として、行事とは別に、日常の中で利用サービスを問わない一体感のある活動を行いたいと始められた取り組みでした。

生活介護の利用者さんには医療的



約があります。また、生活介護もB型も強度行動障害に対する配慮を充分に念頭に置いて計画をじっくりと立てて、下準備や人員配置を考えるうちに多様なニーズが出てきます。

第1回は盆踊り大会でした。いつも一緒にいないメンバーとの顔合わせが刺激となり、期待以上の盛り上がりとなりました。利用者さん同士普段交わらない顔合わせで写真に収まっていたり、ほのぼのとした余韻に参加者が浸ることができました。利用者さんは、「またやりたい。」「今度はいつやるの。」と楽しみにしてくださいます。同じテーマで何かすることで、仲間として改めて絆が確認されているようでした。

その後も、盆踊りは定番で、〈手作り楽器の演奏会〉〈もみじやま公園へ外出〉〈プラパンでキーホルダーを作ろう（交換あり）〉など行っています。安全性がより確保できるように考えています。

普段一緒にいない利用者さんがむづまじく肩を寄せ合っている姿を見ると、準備段階の危惧よりも、利用者さんのエンパワーメントに励まされています。職員の方も、利用者さんの動き方や特徴を肌で感じ、把握できます。これは災害時の対応にも

応用できるのではないかと期待します。何よりも喜んでくださる笑顔に応えていたらしいと考えております。

生活支援課 木村 多恵子

## コロニー東村山

### 第43回コロニー祭を開催！

10月18日（土）、第43回コロニー祭を開催いたしました。今年も大勢の皆様にご来場いただき、会場は活気に溢れています。



ステージではバンド演奏やコーラスなど、様々な出演者による熱演が繰り広げられました。中でも地元の元気いっぱいの演技に観客席から温かな拍手が送られ、会場全体が和やかな雰囲気に包まれました。また、景品がもらえるじゃんけん大会では、参加者の熱気で大変な盛り上がりを見せました。

印刷事業所ならではのオリジナルメモ帳づくりやカレンダー作成も大盛況でした。メモ帳づくりでは来場者の方々が思い思いの絵を描いて世界に一つだけの作品作りに夢中になりました。カレンダー作成ではお気に入りの写真を使って素敵な記念品を制作されました。また、子どもコーナーのストラップアウトも子どもたちに大変人気でした。

自主製品販売コーナーには、利用者のみなさんが心を込めて作った雑貨や小物が並び、来場者の方々が一つ一つの商品を丁寧に選んでいます。また、近隣の就労支援施設が出店する「ナイスハートバザール」も開催され、障害者就労支援のネットワークがさらに広がりました。

焼き鳥 焼きそば、飲み物などの模擬店も大人気で、今年は新たに台湾の屋台料理「シャーピン」も登場

し好評を博しました。食堂のカレー喫茶コーナーには行列ができるほどの人気でした。

今回はスタンプラリーも実施しました。各コーナーに設置されたシールをパンフレットに貼っていき、すべて集めると素敵なメモ帳がもらえるという企画です。会場をくまなく廻って、いろいろなコーナーを楽しんでもらいたいという思いから生まれた企画ですが、親子連れのお客様などが楽しそうにシールを集め姿が印象的でした。

今回のコロニー祭は、7月から実行委員会を立ち上げて準備を進めてまいりました。各コーナーにおいてもチーフを中心メンバーが力を合わせて当日を迎えるました。多くの方のご協力により、第43回コロニー祭を大盛況のうちに終えることができました。来年もお楽しみに！

コロニー祭実行委員長 東 道生

### トーコロ青葉ワーカーセンター

日帰り旅行～電車で『西武園ゆうえんち』へ行こう～

10月24日（金）、天候にも恵まれる

中、日帰り旅行として『西武園ゆうえんち』へ出かけました。参加人数は総勢100名を超える大所帯です。電車組は9時に所沢駅へ集合し、グループごとに元気に出発。2回の乗り換えがありましたが、皆さんのご協力もあり無事に現地へ到着することができました。バス組はトーコロ青葉に集合し、マイクロバスで現地へ向かいます。こちらも無事に到着することができました。

開園までの待ち時間には、「10年以上来ていなかつた」「リニューアル後は初めて」「昔は空中ブランコに乗つたけど、今はどうなつているかな」「トーコロで西武園ゆうえんちに来るのは初めてだね」など、期待と少しの不安が入り混じった会話が聞こえています。しかし10時の開園と同時に、その不安は一瞬で吹き飛びました。高らかなファンファーレと音楽が鳴り響き、満面の笑みを浮かべた



警察官や八百屋さんなど、個性豊かな住人（キヤスト）たちが熱烈に歓迎してくれたのです。私たちは瞬く間に昭和の熱気あふれる非日常の世界へと引き込まれ、驚きと笑顔に包まれました。

「夕日の丘商店街」のアーケードでは歌と踊りのショーが行われ、手拍子とともに大盛り上がり。土産物店では、ここでしか購入できない限定のお菓子やグッズに、皆さん興味津々の様子で商品を手に取っていました。昼食は、近隣の「掬水亭」にて。



楽しい時間はあつという間に過ぎ、帰路は再び電車組とバス組に分かれの移動です。帰りの電車ではホームを移動する場面もありましたが、皆さんの助け合いにより、無事に所沢へ到着。解散時の皆さんの表情には、非日常を味わった笑顔と、心地よい疲れが表れていました。

事業課3係 川崎 伸彦

## トーコロ情報処理センター

### 必要とされるために

トーコロ情報処理センター事業部では主にキーパンチを行っています。では、主にキーパンチを行っています。キーパンチャードという職種をご存じでしょうか？キーパンチャードはデータ入力業務ですが、手書きや印刷された書類のデータをパソコンではなく専用入力機に入力する業務で、高度なタイピング技術が必要な専門性の高い職種です。

キーパンチャードの歴史はアメリカでタイプライターが発明された

1829年に始まります。日本では以前まで、パンチカード穿孔機と呼ばれる機械を使い作業させていました。そして現在では、見た目がパソコンとほぼ同様の入力機を使用しています。私たちが扱うデータには数字・カナ・アルファベットのみもありますが、キーパンチャードでも難しいとされる漢字（文字）入力もあります。



ができる）。キーパンチャーは、いかに早く正確（効率的）に入力できるかにより業務として成り立つため、高い集中力が求められます。

現在、データ入力業務はデジタル化が進んでいますが、まだまだ人の手に頼らなければならないものも多々あります。

科学技術が進歩し、AIが色々なことに応用されますが、私たちでなければできない仕事もあり、ますます精通している人が必要になっています。

そのためにも、事業部の一員としてより良い仕事ができるように、もみじやまの事務所で日々研鑽を積んでいます。

事業部 高橋 耕介

## 東京都葛飾福祉工場 久しぶりの 「かつしかフェスタ」開催

ここ数年、コロナ禍により「かつしかフェスタ」の開催を見送つてしまましたが、コロナもひと段落したこのタイミングで、地域の皆様にも私達の事業所を広く知つて頂きたいと、いう思いから、今年度は昨年竣工し

た立石工場で開催する運びとなりました。久しぶりの開催のため、流れや準備する物などの記憶も薄れつつあり、資料も議事録を参考にする程度で準備が始まりました。

以前開催した際は、各部署から実行委員を出し、毎月会議を開き、具体的に話を進めて行きました。しかし、今回はタイトなスケジュールのため、実行委員会だけの準備では間に合わないとの判断から、立石工場の役職者が、通常業務が忙しい中、開催に向けて会議を重ね、方向性を示してくれました。

また、7月下旬の開催で酷暑が想



定される時季であることから、熱中症対策も講じなければならず、当初予定していた屋外から屋内での開催に変更することとなりました。

当日は、かき氷・フランクフルト・スープ・ボーリすくい・水耕栽培レタス販売・防災グルメ体験・防災用品ワゴンセール・ドリンク販売など事業所の模擬店に加え、近隣の福祉施設にも「クッキー・フィナンシェ」や「葛飾かりんと饅頭」などの和洋スイーツを販売していただく等、豪華ラインナップでした。

模擬店以外にも起震車で震度7を体験したり、「クラウンショード」ではパントマイムで盛り上がり、希望者には封筒工場見学ツアーにも参加していただいたりと、東京都葛飾福祉工場を、そして立石工場を皆様に知つていただく良い機会となりました。

何より会場には笑顔が溢れ、大成功を収めることができました。来年の「かつしかフェスタ」の開催が今からとても楽しみです。

あるO Bの方は職場で製造しているクッキーを持参してくださり、そのおいしさに皆さんが感動していました。また別のO Bの方からは「就職する上で一番大事なのは意欲だと思う」という言葉があり、心に残りました。意欲を持って取り組むことが、良い結果や成長につながるのだと思ふ」と改めて感じました。現利用者さんからは「お話しする時間が短かった」と

「もっとO Bの方と話したかった」と

## 東京都大田福祉工場

笑顔満開！

大田福祉工場O B会  
当日は、開催の挨拶に始まり、

令和7年10月18日（土）、大田福祉工場でO B会を開催しました。

就職を目指す現利用者さん20名が、

先輩の体験を通じて働くイメージをつかむことを主な目的に、元利用者さん（O B）11名と職員9名を交え、和やかな交流の場となりました。

当日は、開催の挨拶に始まり、O

B・利用者さんの自己紹介、O Bによる近況報告や利用者さんからの質問、交流ゲームのクイズ大会などが行われました。終盤には利用者さんからO Bへの記念品授与や代表職員の挨拶、記念撮影もあり、終始笑顔の絶えない会となりました。



いう声も聞かれ、先輩たちの経験や思いにもっと触れたいという前向きな感想が多く寄せられました。職員からは「O Bと現利用者さんのコミュニケーションが取れていたのが良かった」「純粹に楽しかった」といつた声が上がり、世代を超えて笑顔が広がる温かい時間になりました。

会の途中には美味しいお弁当も振る舞われ、昼食を囲みながら和やかな雰囲気が広がりました。特にクイズ大会ではテーブルごとにチームを組み、問題が出るたびに笑いや歓声が起ころるなど大いに盛り上がりました。最後には1位チームへの豪華賞

品の授与も行われ、参加者全員が笑顔で会を締めくくることができました。

今回のO B会を通して、改めてつながりの大切さを感じました。O Bの方々が困った時に気軽に相談でき、安心して訪れる事のできる事業所づくりにも取り組みながら、職員一同、より良い支援を目指して努めて参ります。

就労支援課就労支援係 市原 拓

## 地域生活支援本部

### リフォーム工事を行いました

グルーピホームは、一人ひとりの生活を大切に。『グルーピホームが

「自分の家」としてリラックスできる

ように、を理念として掲げています。

皆で一緒に食事をしたり、入浴や洗

濯の場面では順番を待つたりと、共

同生活の側面ももちろん大きくある

のですが、私たちが一番大切にした

ことは、ここがどの方にとっても

心地よく穏やかに楽しく暮せる「自

分の家」であるように…ということ。

そのためには私たち支援者はお一人お

一人の希望に合わせて個別に対応し

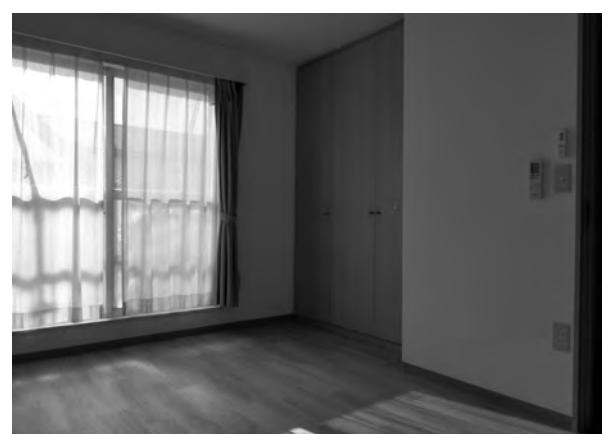
ていきます。入居者の皆さんにとつては「居室」は一番長く過ごす大切な場所。好きな家具やお気に入りのものを置いたりして、ご本人の思いだけでなくご家族の気持ちもいっぽい詰まつた素敵な空間になつています。

東久留米氷川台寮では、開設時から居住されていた2名の方が退居されました。お一人は元々2階の居室でしたが、階段の昇り降りが難しくなつたため寮内での引っ越し（1階の世話人室と居室を交換）も経験されています。お二人ともご自分の「家」としてここで生活を楽しんでいらっしゃいました。私たち支援者にとっても、お二人ともご自分の「家」としてここでの生活を楽しんでいた大好きな場所です。

この夏、新たな入居者を迎えるため、居室と世話人室の合計3室をリフォームしました。壁・天井のクロスと床を張り替え、窓枠やカーテンボックスなどの木部のペンキも塗り替えて新しい居室が完成しました。

8月には第一寮で1名の方が新しい生活をスタートされ、第二寮でも現在新しい入居者を迎える準備をしているところです。

開設して23年が経ちましたので、設備面でも次々に修繕が必要になり、



東久留米氷川台寮  
管理者 鈴木 一恵

# 2025（令和7）年度 上半期事業報告

※2025年9月末時点の報告書となります。

## 1. 総括

本年度は、感染予防対策を緩和しつつ平常時の事業運営に努めています。中期事業計画（2022年度～2026年度）は4年目となり、次期中期事業計画策定に向けて本期の総括や次期基本方針などの取りまとめの準備に入りました。世代交代も視野に現場からの声を反映させながら新たな視点も取り入れて策定することとします。6月に役員ならびに評議員の任期が満了することに伴い、新任の監事と評議員それぞれ1名を迎えて新しい体制となりました。

海外の長引く紛争には、国際社会全体で平和への懸念が増大しており、戦後80年の節目を迎えるわが国が、現在平和であることの有難みを改めて考えさせられます。また、自国優先主義のリーダーによる貿易摩擦や、円安による輸入コストの増加、エネルギー・原

材料価格の高騰、世界情勢の不安定化、国内の人件費や物流費の上昇などが複合的に重なり、物価高騰はますます深刻化しています。加えて、前年度に実施された3年毎の障害福祉サービス報酬改定も重なり、経営にも大きく影響する状況となっています。引き続き、社会環境や経済状況の変化には緊張感をもつて対応していくこととします。能登半島地震災害への支援対策として設置された日本障害フォーラム支援

センターは、今年度末まで延期するところが決定しており、引き続き支援希望者を募っている状況です。

2022年、国連障害者権利委員会による日本の初回審査では、インクルーシブな社会への包容を強調し、父権主義的アプローチから社会モデルや人権モデルに調和することを総括所見で示しました。一方、わが国の障害者施策は、相変わらず福祉サービス報酬改定などのマイナーチェンジに留まっている状況です。引き続き、障害者権利条約を羅針盤として障害のある人の暮らしぶりの向上を目指し、関係団体と連携して様々な諸課題に取り組んでいきます。

## 2. 上半期事業結果と年度方針の達成状況

本年度の事業方針は中期事業計画を推進することを柱に、とりわけ、経営改善と人材確保・人材育成に努力しているところです。就労支援事業では、加工高の確保と障害のある人たちの就労の質ならびに待遇の向上、また、福祉サービス事業では、支援の質の向上に努力しており、期中の実施状況は次のとおりとなりました。

### (1) 経営の基本方針

- ・経営理念や倫理、社会的役割に伴うコンプライアンスやガバナンスを重んじた法人運営に努めています。福祉サービスの質的向上のた

めに、第三者サービス評価機関の審査を受審し、苦情解決制度の継続や広報誌やホームページ等による情報開示を実施しています。

・財務や資金管理について、法人本部が拠点間の窓口となって調整に努めており、各拠点の資金繰り状況を定期的に把握し常務会等で共有しています。

・市中銀行からの借入れは、理事会全体会で共有し予防・改善に取り組んでいます。

・活動の視野を広げるために、中野区や法政大学のSDGsパートナー交流会に参加し、当法人の取り組みなどを紹介しました。国際交流では一般社団法人ゼンコロの活動をつうじて、インド・バンガルールの施設との事業交流やフィリピン・マニラで開催されたWASE（ワーカビリティ・アジア）会議に出席するなど積極的に参加しています。

### (4) 事業の継続

・常に経営改善に視点を置き、持続可能な事業への体質改善を図つております。各拠点ではBCPの見直しを適宜実施しています。

・今後の障害者福祉の動向などに注力し、他の団体等とも連携して活動することで事業継続の必要性の認識を高めています。

### (5) 人材確保・育成

・求人広告をホームページや求人媒体に掲載して人材確保に努め、人材育成には教育・研修を計画しています。具体的には例年通り新人研修を実施したほか、下半期には管理職を対象に2027年度からの中期事業計画を見据えた研修を予定しています。

- ・人事考課制度を活用して上長との面談等をつうじて風通しの良い職場環境づくりに努め、一人ひとりの活躍の場の充実を目指しています。

す。加えて、世代交代を視野に後継者の育成にも取り組んでいます。

(6) 他の団体との協力連携

- ・障害者福祉の向上のために、各省庁ならびに東京都、各区市自治体、全国社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会、一般社団法人ゼンコロ、特定非営利活動法人日本障害者協議会、全国社会就労センター協議会、日本セループセンター、東京都セループセンターなどにおいて積極的に役割を果たしています。また、従業員等が、対外的な立場において充分に役割發揮ができるよう、可能な限り配慮し支援しています。

### 3. 各拠点の事業運営概要

(1) 法人本部(事務局)

法人全体および法人内の各事業が抱える諸課題への対応、事業運営における改善などにおいて役割を果たしています。常務会を中心に中期事業計画の達成に取り組むとともに、次期中期事業計画立案の準備に着手しました。2024年度より開始した担当理事制や一部の事務統合は軌道に乗り、

す。加えて、世代交代を視野に後継者の育成にも取り組んでいます。

(6) 他の団体との協力連携

- ・障害者福祉の向上のために、各省庁ならびに東京都、各区市自治体、全国社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会、一般社団法人ゼンコロ、特定非営利活動法人日本障害者協議会、全国社会就労センター協議会、日本セループセンター、東京都セループセンターなどにおいて積極的に役割を果たしています。また、従業員等が、対外的な立場において充分に役割發揮ができるよう、可能な限り配慮し支援しています。

(2) 地域生活支援本部(グループホーム・生活支援等)

地域生活を支援する事業として、グループホーム、短期入所、居宅介護事業等、特定相談支援事業を運営しています。5つのユニットを宿直から夜勤に切り替え人件費が増加したことや報酬改定による減収などで、資金面では厳しい状況が続いています。

(3) トーコロ情報処理センター(事業部、デジタルメディアセンター、職能開発室)

本年度より、職能開発室も統合して管理運営しています。法人内のIT部門として、基幹システムの安定稼働に対応する連携や、ネットワークを介して横断的に動き各事業所の要望事項に対応しています。業界全体の予算削減や価格競争を強いられるなど厳しい状況は続いているが、経費削減に努力し事業の安定継続を目指しています。

(4) コロニー東村山

将來を見据え、派遣によるネットワークエンジニアを年度内で終了し、内部人材で対応する検討に入りました。技術面の引継ぎと共に、人材教育・育成では研修やセミナーへの参加を促すなど継続的な課題として取り組んでいます。職能開発室のIT教育、在宅就労支援、情報利活用支援等の事業運営は、例年同様、主に自治体と企業の委託金ならびに助成金で進めています。

(4) コロニー中野

就労支援事業において、軽作業と飲食は好調に推移していますが、印刷関連事業等においては厳しい状況となっています。感染症対策としては7月からマスク着用を任意にしました。支援活動においては、実利用率は減少して

いますが、自立支援給付費収益は対前年比101.1%でした。事業活動収支では前年同期を上回ることはできませんでしたが、若干の黒字を計上しました。引き続き軽作業等の新規受注にも取り組み、安定した事業運営を目指します。

(5) 中野区仲町就労支援事業所

中野区との基本協定、管理運営業務に関する協定を遵守し、個々のニーズに対応した支援内容の充実に取り組み、感染予防対策も継続しています。利用定員は充足していますが、通所率の高い方が相次いで企業就労を果たしたことや、高齢化による通所日の見直しだけにより、1日あたりの利用数は減少しています。今期で中野区からの指定管理が満期になることから、次年度以降の第4期指定管理受託において中野区に事業提案を行い、指定を受けることが決定しています。

(6) コロニー東村山

就労支援事業では、デジタル化事業の大型整備を進めたことで、積極的な営業展開の体制を整えましたが、売上高の約90%を占める印刷市場の厳しい環境を考慮して、控えめの売上計画でスタートしています。印刷事業・デジタル化事業とともに営業努力や物価高騰による値上げ交渉が功を奏し、期中は、売上高・加工高で前年度を若干上回ることができています。しかし、人件費高騰の影響もあり事業活動収支では前年を下回っていることから、下半期にかけて事業所全体で連携しながら改善を目指します。障害福祉サービス事業においては、合計80名の定員のところ上半期末の利用実員は68名であり、前年比でも4名減となっています。引き

(7) トーコロ青葉ワーケンター

就労支援事業は、売上高・加工高とも計画を若干上回ることができています。前年度より作業方法の見直しなどを進めており、生産性の向上に取り組んでいますが、積極的な受注拡大までに繋がっておらず引き続き検討しています。就労支援活動には生活介護事業でも各種販売会に参加するなど、事業所間のネットワークを構築して日中活動の充実に努めています。放課後等デイサービス「アリー・バ」は、日常生活の充実と自立支援のための活動や、多様な遊びや体験活動、地域交流の活動、こどもが主体的に参画できる活動など、の要件を満たすことで都型を認可され、広範なサービス提供を行っています。

(8) コロニーもみじやま支援センター

こどもが主体的に参画できる活動など、の要件を満たすことで都型を認可され、広範なサービス提供を行っています。

(9) 東京都葛飾福祉工場

年度当初に新規利用者4名を迎えて事業を開始し、期中に2名の新規利用者がありました。社会全体がコロナ禍の緩和に向かっていますが、感染時の重症化リスクは依然として懸念されることから、マスク着用や手指消毒などを継続しながら日常に近い活動環境を提供できるよう努めています。就労支援事業の売上は、特に軽作業においては、停滯気味であり工賃向上を目指して新たな事業展開を模索しています。福祉サービス事業においては、就労継続支援B型事業、生活介護事業、短期入所のいずれも前年度収益を上回っていますが、報酬改定の影響などを踏まえて、さらなる利用率の向上や1日当たりの利用人数に着目して、充実した支援を開発することとしています。

立石工場を建て替えて2年目となり、事業所祭り「かつしかフェスタ」を立石にて開催するなど、地域との連携を積極的に目指しています。防災の受注状況は、能登半島地震などの影響による特需のあつた前年度に比べると厳しい数字になっていますが、過去5年間の同期実績と比較すると平年並みを維持しています。支援においては、より良い職場環境・支援体制となつたこともあり、就労移行支援事業の動きは活発化し2年ぶりに一般企業への就職につながりました。一方、金町・立石の2拠点での支援体制は組織力という面で課題を残しております。改善に向けて検討を始めました。

(10) 東京都大田福祉工場

印刷事業の売上高は増収となりました。一方で、内製できる案件を中心には既存案件の維持継続や新規案件の獲得に尽力しましたが、外注費の増加もあり加工高は微減し加工高比率も下降しました。障害福祉サービス事業では利用者の減員が影響し、自立支援費収益は対前年比で若干の減少となりました。

ヒヤリハット事案に即応した対応、感染症対策、災害対策、組織的安全衛生について、組織的に体制を維持し対応を継続しました。

事業所は本年4月で創立50年を迎えました。これまで多くのみなさまに支えられ、地域に支持共感される事業所として成長することができます。成長できるよう一丸となつて努力してまいります。

表1 在籍者の推移  
自2025(令和7)年4月1日 至2025(令和7)年9月30日

(単位：人)

|             | 前年度末<br>在籍者数 | 期中増減      |          |           | 主な減員理由   |           |          | 上半期末<br>在籍者数 |
|-------------|--------------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|--------------|
|             |              | 増員        | 減員       | 自己都合      | 一般就労     | 疾病、その他    |          |              |
| 雇用就労者       | 91<br>(78)   | 3<br>(3)  | 0<br>(0) | 1<br>(1)  | 0<br>(0) | 1<br>(1)  | 0<br>(0) | 93<br>(80)   |
| 事業・施設の利用者   | 432          | 15        | (0)      | 19        | (0)      | 13        | 2        | 428          |
| その他         | 98           | 16        | (0)      | 17        | (0)      | 3         | 1        | 97           |
| 障害がある在籍者（計） | 621<br>(78)  | 34<br>(3) | (0)      | 37<br>(1) | (0)      | 17<br>(1) | 3<br>(0) | 618<br>(80)  |
| 障害がない在籍者    | 293          | 24        | (3)      | 10        | (3)      | 7         | 0        | 307          |
| 合 計         | 914<br>(78)  | 58<br>(3) | (0)      | 47<br>(1) | (0)      | 24<br>(1) | 3<br>(0) | 925<br>(80)  |

(注) 1) A型従業員については、障害がある雇用就労者に含めた上で下段の（）で再掲している。  
 2) 増員および減員の各右欄には法人内異動を（）で表記している。  
 3) 「その他」にはグループホーム利用者・在宅パソコン講習生・放課後等デイサービス利用者・定着支援利用者を含む。  
 4) 在籍者数には非常勤嘱託医を含まない。

表2 法人単位貸借対照表

第三号第一様式(第二十七条第四項関係)

(単位：円)

| 資産の部           | 2025年9月30日現在  |               |              | 負債の部              |               |               |
|----------------|---------------|---------------|--------------|-------------------|---------------|---------------|
|                | 当年度末          | 前年度末          | 増減           | 当年度末              | 前年度末          | 増減            |
| 流动資産           | 4,400,295,782 | 4,689,038,379 | -288,742,597 | 流动負債              | 1,481,193,575 | 1,766,111,193 |
| 現金預金           | 2,800,029,374 | 2,577,159,330 | 222,870,044  | 短期運営資金借入金         | 400,000,000   | 400,000,000   |
| 事業未収金          | 855,062,585   | 1,654,688,714 | -799,626,129 | 事業未払金             | 603,211,542   | 933,237,333   |
| 未収金            | 7,454,906     | 13,462,522    | -6,007,616   | その他の未払金           | 12,860,895    | 40,082,482    |
| 未収補助金          | 10,968,605    | 6,654,653     | 4,313,952    | 1年以内返済予定設備資金借入金   | 12,978,000    | 25,956,000    |
| 受取手形           | 1,896,259     | 25,047,592    | -23,151,333  | 1年以内返済予定長期運営資金借入金 | 1,595,000     | 1,595,000     |
| 電子記録債権         | 46,050,710    | 49,892,964    | -3,842,254   | 1年以内返済予定リース債務     | 1,632,840     | 2,288,880     |
| 貯蔵品            | 4,967,859     | 3,572,458     | 1,395,401    | 1年以内支払予定期長期未払金    | 1,055,648     | 2,433,252     |
| 商品・製品          | 381,830,160   | 312,963,188   | 68,866,972   | 未払費用              | 41,440,173    | 71,082,481    |
| 仕掛品            | 19,998,602    | 14,219,426    | 5,779,176    | 預り金               | 19,970,567    | 15,886,540    |
| 原材料            | 13,134,457    | 13,273,477    | -139,020     | 職員預り金             | 15,977,920    | 10,610,809    |
| 立替金            | 10,178,114    | 6,371,348     | 3,806,766    | 前受金               | 46,566,123    | 4,978,765     |
| 前払金            | 200,000       |               | 200,000      | 仮受金               | 778,868       | 778,868       |
| 前払費用           | 25,645,740    | 13,441,895    | 12,203,845   | 賞与引当金             | 146,703,142   | 190,656,789   |
| 前払費用（非資金）      | 2,131,611     |               | 2,131,611    | 未払金等              | 229,847       | 67,302,862    |
| 短期貸付金          | 195,354       |               | 195,354      | 仮受消費税             | 176,193,010   | 176,193,010   |
| 仮払金            | 37,330,276    |               | 37,330,276   | 固定負債              | 634,157,510   | 628,485,650   |
| 徴収不能引当金△       | 835,933       | 1,709,188     | -873,257     | 設備資金借入金           | 263,066,000   | 263,066,000   |
| 仮払消費税          | 184,057,103   |               | 184,057,103  | 長期運営資金借入金         | 28,405,000    | 28,405,000    |
| 固定資産           | 5,095,779,807 | 4,967,641,556 | 128,138,251  | リース債務             | 10,942,580    | 6,791,180     |
| 基本財産           | 3,425,716,059 | 3,480,960,852 | -55,244,793  | 退職給付引当金           | 323,687,582   | 322,167,122   |
| 土地             | 812,128,671   | 812,128,671   |              | 役員退職慰労引当金         | 3,484,374     | 3,484,374     |
| 建物             | 4,360,918,751 | 4,337,665,151 | 23,253,600   | 長期未払金             | 4,571,974     | 4,571,974     |
| 建物減価償却累計額△     | 1,747,331,363 | 1,668,832,970 | 78,498,393   | 負債の部合計            | 2,115,351,085 | 2,394,596,843 |
| その他の固定資産       | 1,670,063,748 | 1,486,680,704 | 183,383,044  | 純資産の部             | 279,245,758   |               |
| 土地             | 298,950,200   | 298,950,200   |              | 基本金               | 300,915,620   | 300,915,620   |
| 建物             | 830,976,758   | 754,786,874   | 76,189,884   | 基本金               | 300,915,620   | 300,915,620   |
| 構築物            | 165,917,945   | 165,917,945   |              | 国庫補助金等特別積立金       | 2,213,632,685 | 2,005,032,239 |
| 機械及び装置         | 731,129,983   | 712,241,393   | 18,888,590   | 国庫補助金等特別積立金       | 2,213,632,685 | 2,005,032,239 |
| 車両運搬具          | 50,218,346    | 50,218,346    |              | その他の積立金           | 298,361,973   | 343,361,973   |
| 器具及び備品         | 535,084,616   | 374,565,606   | 160,519,010  | その他の積立金           | 216,500,000   | 261,500,000   |
| 建設仮勘定          | 701,500       | 30,000        | 671,500      | 移行時特別積立金          | 81,861,973    | 81,861,973    |
| 建物減価償却累計額△     | 518,051,731   | 505,324,826   | 12,726,905   | 次期繰越活動増減差額        | 4,567,814,226 | 4,612,773,260 |
| 構築物減価償却累計額△    | 98,855,158    | 94,174,888    | 4,680,270    | 次期繰越活動増減差額        | 4,567,814,226 | 4,612,773,260 |
| 機械及び装置減価償却累計額△ | 640,366,463   | 632,391,150   | 7,975,313    | (うち当期活動増減差額)      | -89,959,034   | 158,288,832   |
| 車両運搬具減価償却累計額△  | 49,985,418    | 49,855,044    | 130,374      | 純資産の部合計           | 7,380,724,504 | 7,262,083,092 |
| 器具及び備品減価償却累計額△ | 298,723,174   | 277,616,578   | 21,106,596   | 負債及び純資産の部合計       | 9,496,075,589 | 9,656,679,935 |
| 権利             | 16,500        | 16,500        |              |                   | -160,604,346  | -160,604,346  |
| ソフトウェア         | 42,867,002    | 42,930,102    | -63,100      |                   |               |               |
| 退職給付引当資産       | 294,744,036   | 294,780,576   | -36,540      |                   |               |               |
| その他の積立資産       | 298,361,973   | 342,361,973   | -44,000,000  |                   |               |               |
| 差入保証金          | 2,217,430     | 2,167,430     | 50,000       |                   |               |               |
| 長期前払費用         | 23,227,903    | 5,444,745     | 17,783,158   |                   |               |               |
| その他の固定資産       | 2,202,840     | 2,217,840     | -15,000      |                   |               |               |
| 徴収不能引当金△       | 571,340       | 586,340       | -15,000      |                   |               |               |
| 資産の部合計         | 9,496,075,589 | 9,656,679,935 | -160,604,346 |                   |               |               |

# アートビリティ Artbility ギャラリー 55

『大丈夫、愛はみんな持ってる。』

旭 夏空 (あさひ なつぞら) さん



「コロニーとうきょう」の表紙として、今回、旭夏空さんの『大丈夫、愛はみんな持ってる。』を選びました。『大丈夫』と言ってもらえると、なんだか安心でき、同じ顔が一人たりともいない旭さんのキャラクターが、みんなハートを持って微笑んでいるという、心が温かくなるような作品を、この寒い季節に是非ご覧いただきたいと思ったからです。

アートビリティのホームページには、ほかにも心温まる作品がたくさん登録されています。冬のひととき、ぜひお気に入りの作品を探しにお越しください。

【作家プロフィール】

兵庫県在住。

気持ちを擬人化し、キャラクターとして絵にすることで命を与えていた。

夢は、憧れの小説家の単行本の表紙や、ミュージシャンのアルバムジャケットを描くこと。

2009年 「第3回 ニッケ ピュアハート イラスト大賞」ニッケ賞入選。

2017年 アートビリティ登録作家となる。

2019年 「第31回アートビリティ大賞」日立キャピタル特別賞受賞。

「第11回越前大野感性はがき展」佳作。

2021年 第6回「10×15の世界コンテスト展」入選。

「2021 かんでんコラボ・アート」審査員特別賞受賞。

2025年 「2025 パラアートTOKYO」入選。

■アートビリティ…障害者の所得支援を続けてきた社会福祉法人東京コロニーが、アートの分野で力を発揮する人材を後押しし、その才能を収入に結び付けるために始めた事業です。約200名の作家による6,500点以上の作品が揃ったアートライブラリーとなり、年間約400点の作品が使用されています。

## ご寄附のお礼

(2025年6月～2025年11月 総額 5,810千円)

下記の皆様より、当法人に対してご寄附を賜りました。ご支援に対しまして心より感謝申し上げます。

2025年6月 三菱商事株式会社 様

2025年11月 諫訪 康雄 様

2025年11月 小池 誠 様

◎文中の写真はご本人の了解を得て掲載しています。

ご協力のお願い 社会福祉法人東京コロニーでは、障害のある方の就労や教育、生活を支援するために数多くの事業を行っています。私たちの事業を応援して下さる方（あるいは団体）からのご協力を下記を窓口に常時受け付けております。いただきましたご寄附は、主に新しい事業の立ち上げや先進的な取組みを行うための財源に充当させていただきます。より多くの方へのより質の高いサービスをめざす当法人の事業に対し、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。（社会福祉法人への寄附は、税金が一部免除になります。）

ご寄附受付 社会福祉法人東京コロニー 法人本部事務局  
tel:03-3952-6166 fax:03-3952-6664 <https://www.tocolo.or.jp/contact/>

# 東京コロニーのホームページ



東京コロニー メインページ  
<https://www.tocolo.or.jp/>



コロニー東村山ブログ  
<https://www.colony.gr.jp/colonyhigashimurayama/>



コロニー東村山  
<https://www.colony.gr.jp/>



デジタル メディアセンター  
<https://www.tocolo.or.jp/dmc/>



アートビリティ  
<https://www.artbility.com/index.html>



東京都大田福祉工場  
<https://ootafukushikojo.org/>



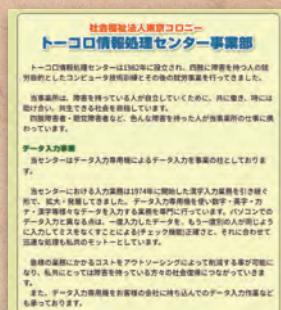
トコロ情報処理センター職能開発室  
<https://www.tocolo.or.jp/syokunou/>



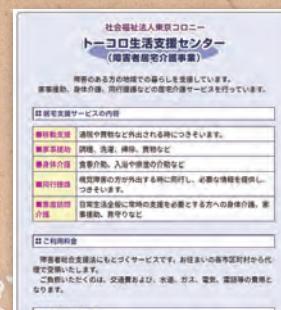
トコロ青葉ワークセンター  
<https://www.colony.gr.jp/aooba/>



東京都葛飾福祉工場  
<https://www.fireman21.net/>



トコロ情報処理センター事業部  
<https://www.tocolo.or.jp/joho/>



トコロ生活支援センター  
<https://www.tocolo.or.jp/seikatu/index.html>



グループホーム  
<https://www.tocolo.or.jp/grouphome/index.html>



中野区仲町就労支援事業所  
<https://colony.gr.jp/nakatyoushienn/>



コロニーもみじやま支援センター  
<https://colony.gr.jp/momijiyama/>



コロニー中野  
<https://colony.gr.jp/colonynakano/>